



JAL不当解雇撤回ニュース

No432号 2015.03.02
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

最高裁の不当決定を吹き飛ばし 不当解雇撤回・職場復帰をめざす！

労働争議京都総行動でJAL争議支援に結集

2月18日、「2015年春・労働争議支援京都総行動」が京都総評、JAL闘争京都支援共闘などを中心に行われ、清田JAL乗員原告団事務局長を先頭に京都市内にある稲盛財団と京セラ本社に申し入れを行い、抗議宣伝行動ものべ182人が参加して行いました。

四条烏丸交差点で宣伝行動



【写真】宣伝カーより訴える原告(京都 四条烏丸交差点)

にと要請団は強調しました。

解雇撤回めざして最後まで闘う 京セラ本社に決意伝える

京セラ本社前では、隣の催し物会場に参加する一般市民も平日の日中でしたがたくさん通行し、関心を持ってJAL争議のビラを受け取りました。JAL原告を中心とした要請団が京セラ名誉会長でもある稲盛和夫・JAL名誉会長に、自主解決めざして闘う決意を伝えるように京セラ本社に入り総務部担当に要請書を手渡しました。

外では五十人近い地域の支援の仲間が申し入れ代表団激励のマイクを取り、労働契約法20条違反裁判で全国の非正規労働者の闘いの先頭に立つ郵政ユニオンの報告、全印総連のブラック企業・印刷通販という町の印刷屋を次々倒産に追い込む業態であるプリントパック社での組合員いじめへの闘いの報告、きょうとユニオンの京都市立浴場の退職金未払い請求闘争報告などが続けられました。

解決に向け稲盛財団に要請行動

京都市中心部繁華街にあり、盛和塾も入居する大きなビルのワンフロワーすべてを使用する稲盛財団は、JAL闘争京都共闘やJAL不当解雇撤回原告団の代表者らに対し、いつもの事務局次長はなぜか出てこず、「稲盛和夫理事長への(不当解雇撤回の要請)文書はお預かりします」というので、「最高裁決定が出たからといって闘いを終



【写真】稲盛財団にて要請をする要請団

えるわけではない。勝利するまで闘う」と明確に伝えるよう



【写真】京セラ本社に向かってシュプレヒコール

最後に、JAL客乗原告団の鈴木圭子さんの発声で、京セラ本社百メータービルに向かって、最高裁決定吹き飛ばして最後まで勝利めざして闘う決意をこめた、怒りのシュプレヒコールで締めくくりました。

(JAL闘争京都共闘・稲村守事務局次長)